

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系接着剤
- 特 長 1) 常温硬化型で、取り扱いが容易。
2) 塗布作業性が容易で、規定の膜厚の保持が可能。
3) 接着性に優れる。
- 用 途 1) プレキャストコンクリートブロック接合目地接着用
コンクリート標準示方書 土木学会基準「プレキャストコンクリート用エポキシ樹脂系接着剤（橋げた用）品質規格（JSCE-H 101-2001）」適合品
- 配 合 比 主 剤：硬化剤 = 7：3 （重量比）
- 荷 姿 10kgセット （主剤／7.00kg、硬化剤／3.00kg）
- 外 観 性 状 主 剤…白色ペースト状
硬化剤…黒色ペースト状
混合物…灰色ペースト状

可 使 時 間

タ イ プ	冬 用 (W)		夏 用 (S)	
温 度 [°C]	5	15	20	30
可 使 時 間 [分]	120	80	60	30
プレストレス可能時間[時間]**	7	4	2.5	2

**コンクリート標準示方書 土木学会基準（JSCE-H 101-2001）に基づく可使時間

- 比 重 1.10～1.70 （硬化物）
- 貯蔵保証期間 12か月 （未使用、冷暗所保存）
- 消防法による区分 主 剤 危険物 第4類 第3石油類
硬化剤 危険物 第4類 第3石油類
- 使用 方 法 1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。
3) ブロック接合部分は、表面処理を行い、平滑に仕上げる。
4) 塵埃、油脂、はく離剤などを除去し、乾燥する。
5) 可使時間内に、接合するブロックの双方の面に1mm程度の厚さに塗布する。
6) プレストレス可能時間内に、少なくとも第一回のプレストレスングを終了する。
- 使用上の注意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去）
2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。
3) シンナーや水を混入して使用しない。

⚠ 注 意

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については製品安全データシート（MSDS）を参照してください。 |
|---|